



2023年6月に八十二銀行と長野銀行は経営統合し、2026年1月1日に合併します(予定)。

「日本で一番成功した地域金融機関の経営統合・合併」を目指し、八十二長野銀行としての新たなスタートに向けて万全な準備に取り組んでいます。

経営統合の意義・背景

長野県は3,000m級の山々と清流に囲まれ、精密機械製造業が経済を牽引しています。豊富な観光資源や独自色豊かな地域文化を有し、さらに日本一の健康長寿県であることも注目を集めています。こうした魅力あふれる長野県に本店を置く両行は、地域とともに歩んできました。

コロナ禍やデジタル技術の進展、気候変動対策などを背景に地域社会が大きな変革期を迎える一方で、低金利による厳しい事業環境下にある両行には、これまで以上の役割が期待されることを認識していました。両行が手を携えることで盤石な経営基盤を築き、金融仲介機能を強化していくこと、持続可能なビジネスモデルを構築していくことが、両行のステークホルダーの皆さまのご期待にお応えするための最適な選択であると判断し、2023年6月1日の経営統合に至りました。



経営統合の3つの目的

① 経営の効率化

- ▶ システム・事務の統一
- ▶ 店舗統廃合

- 経営の効率化を進め、人材の創出とコスト削減を実現

② 戦略的な人材配置

- ▶ 戦略分野への人材の再配置

- 戦略分野への人材再配置により収益力の強化を図り、中長期的な成長につなげる

③ 収益力の強化

- ▶ 両行のノウハウ共有

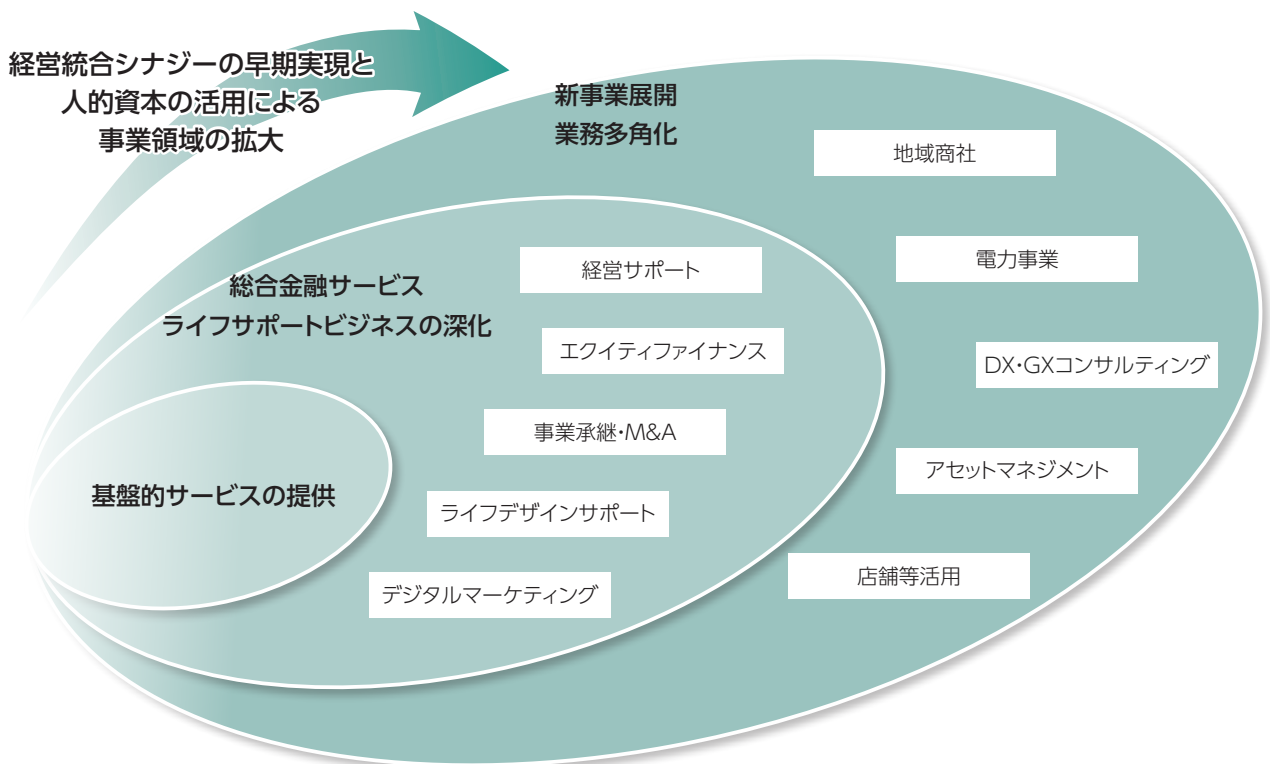
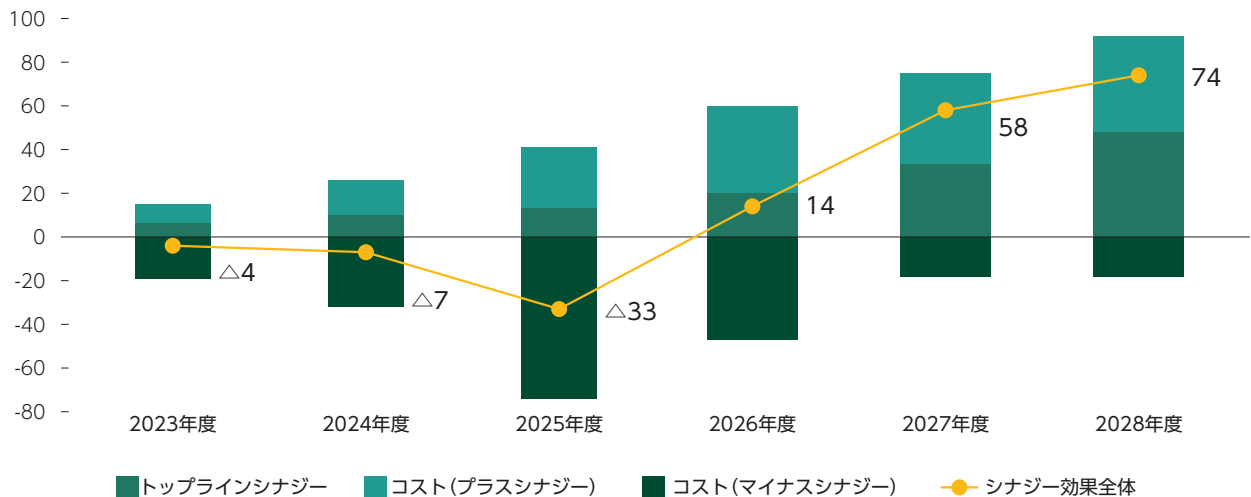
- 地域のお客さまのニーズへの対応
- 成長分野(コンサルティング・デジタル等)の強化

- ▶ 両行の経営統合・合併により、事務・システムの統一化や地域内で重複する店舗統廃合等の措置を講じることで、経営効率の向上を図り、人材創出とコスト削減を実現します。
- ▶ 経営効率の向上により創出した人材を、戦略分野や新規業務の拡大に向けた外部企業への研修参加・出向派遣等に再配置することで、収益力を強化するとともに、中長期目線での人的資本の強化にも取り組んでいきます。

経営統合の計画

- ▶ 合併前はシステム統合にかかる費用の増加等によりコスト面におけるマイナスシナジーが先行しますが、合併後となる2026年度以降はトップラインシナジーとコスト面におけるプラスシナジーを本格的に発揮し、シナジー効果全体での黒字幅の拡大を見込んでいます。
- ▶ 経営統合からの6年間で、店舗合理化と業務効率化等により人員の大幅な自然減に対応しつつ、コンサルティングやデジタル等の戦略分野へ人材を再配置します。

シナジー効果全体の見通し (単位: 億円)



～八十二長野銀行誕生に向けて～

シナジーの進捗状況

①経営の効率化

▶ 住宅ローン窓口の一本化

2023年11月 長野銀行の住宅ローン専担者を八十二銀行ローンプラザに集約し、窓口を一本化

▶ 共同店舗の営業開始

2024年2月 八十二銀行東京営業部と長野銀行東京支店の共同店舗を開店

2024年5月 八十二銀行信州大学前支店と長野銀行松本北支店の共同店舗を開店

▶ 銀行代理業の開始・出向の拡大

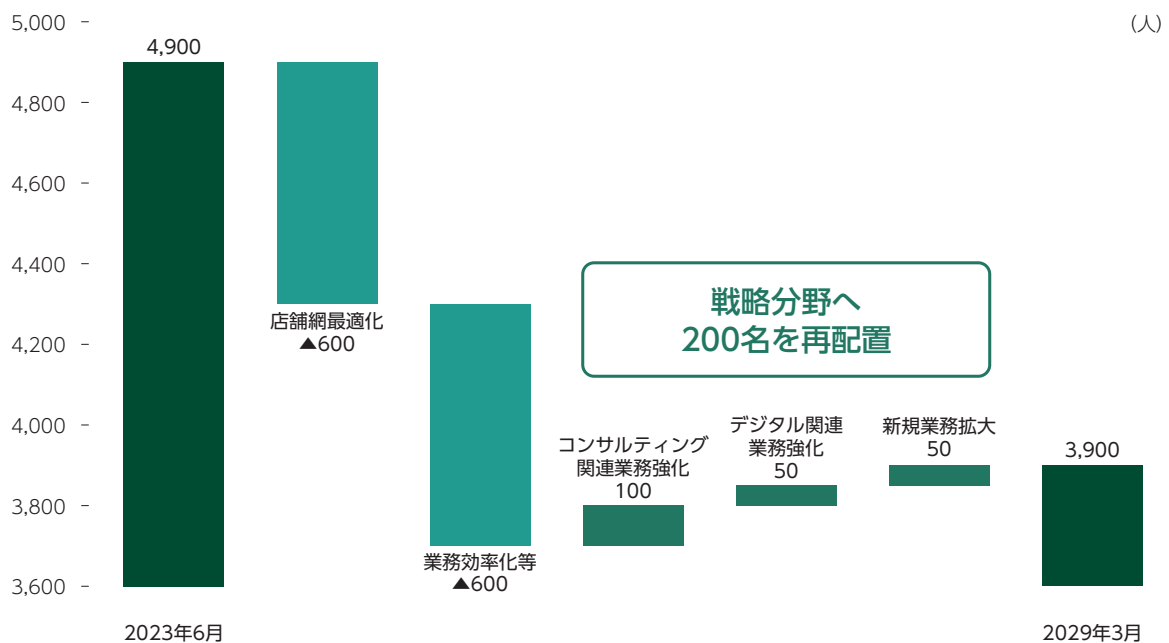
2024年9月 お客さまにいち早く合併後の姿を示すことで、安心感・期待感とともに合併シナジーを実感していただくため、営業窓口・取引一本化に合わせ、両行で銀行代理業を開始し、兼務出向を拡大

▶ ローンプラザ移転

2024年10月 八十二銀行豊科支店内から長野銀行豊科支店内へ移転

2025年4月 八十二銀行南松本支店内から長野銀行高宮支店内へ移転

②戦略的な人材配置

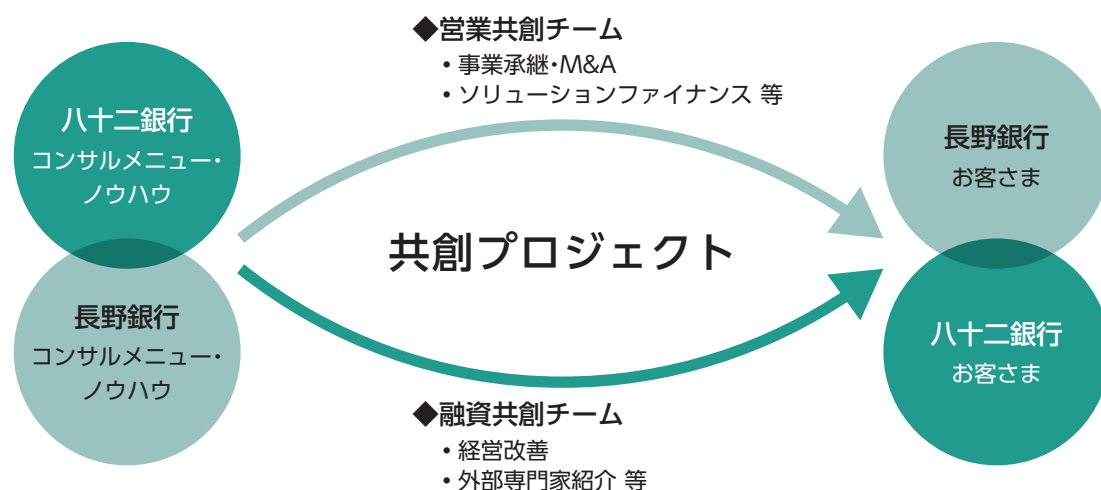


▶ 人員の大幅な自然減に対応しつつ、店舗合理化と業務効率化等によりコンサルティングやデジタル等の戦略分野へ200名を再配置

▶ 店舗統廃合等の効果により、2025年3月末時点で、コンサルティング関連業務5名、デジタル関連業務4名、新規業務11名の再配置を実施

③収益力の強化

2023年6月から、両行のコンサルティング機能を相互に提供し、お客さま支援に取り組む「共創プロジェクト」を開始しました。事業承継・M&Aやソリューションファイナンスをサポートする「営業共創チーム」、経営改善や外部専門家紹介等をサポートする「融資共創チーム」を組成し、両行の力を掛け合わせたお客さま支援を強化しています。



▶ 2024年度「営業共創チーム」の取組み

「融和」から「連携」フェーズへと移行し、長野銀行（ソリューション営業部）と八十二銀行（営業渉外部）の実質一体化を進めています。本部主導で長野銀行をメイン行とするお取引先との関係強化を図るとともに兼務出向拡大を進めました。

〈主な取組件数〉

分野	内訳	2024/3	2025/3	合計
ソリューション ファイナンス	案件数	17	24	41
	うち成約	12	13	25
事業承継 M&A	案件数	7	44	51
	うち成約	1	11	12
外為 デリバティブ	案件数	43	98	141
	うち成約	23	57	80

▶ 2024年度「融資共創チーム」の取組み

大口支援先への共同支援や取引先に対する経営改善・事業再生支援として両行共通施策を展開しています。「本部機能・運用の一本化」に向けた取組方針を策定し、活動を進めています。

〈主な取組件数〉

分野	2024/3	2025/3	合計
経営改善計画作成支援	8	16	24
外部専門家の紹介	4	12	16
再生ファンドの活用	1	1	2

～八十二長野銀行誕生に向けて～

合併に向けた具体的な取組み

一体営業体制の構築

合併に向けた準備を前倒しで実施し、万全な状態で2026年1月を迎えるため、「お客さまの不安解消」や「経営統合のメリットを早期に実感いただくこと」を目的に、営業窓口・取引一本化や銀行代理業の活用等による、一体営業体制の構築を進めています。

▶ 営業窓口・取引一本化

合併に先立ち両行一体となった営業活動を展開しています。お客さまのご理解をいただきながら両行営業担当者の重複解消とコンサルティング業務への人員シフトを進め、両行のノウハウ共有と課題解決提案の高度化に取り組んでいます。

▶ 銀行代理業の開始および出向の拡大

- 営業窓口・取引一本化における契約締結等のお手続きなど、お客さまのご負担を軽減するため、両行それぞれが相手方銀行の「銀行代理業者」となりました。合併に必要な対応を効率的かつ円滑に進めるほか、職員の融和や業務知識習得等を促進しています。
- 合併に向けた各種施策をさらに加速させるため、本部・営業店双方において出向を拡大しています。2025年4月からは、合併前よりシナジー効果を発揮するため、法人・個人担務を問わず営業店職員の再配置を実施しています。

2025年3月末

	兼務出向	完全出向
本部	112名	14名
営業店	178名	32名
合計	290名	46名

両行共同の取組み

▶ セミナーの共同開催

- 両行共同でお客さま向けセミナーを開催しています。創業支援、相続・資産承継など幅広いテーマ・分野について、専門家による講義や実践的なワークショップなど、お客さまの関心事やニーズに合わせて企画しています。お客さまから頼りにされる存在になれるよう、有益な情報提供に取り組んでいます。
- お客さまのご意見・ご要望を幅広くお伺いすることで、商品・機能・サービスの充実にも活かしていきます。



▶ 各種研修の共同開催

- 2023年8月から業務研修やキャリア研修、自主参加型研修「菁菁塾」を共同開催しています。両行の持つノウハウの融合を進めることで、職員の業務スキルの向上を図り、グループ全体のシナジー効果を高めていきます。
- 研修プログラムを通じて、職員の専門性と総合力を高めることで、お客さまへご提供するサービス品質の向上を図っています。さらに、グループ全体の連携を強化し、シナジー効果を最大限に発揮することで、地域社会への貢献を加速していきます。

▶ 地域行事への共同参加

- 2023年夏から各地区で開催されるお祭りに共同で参加しました。この共同参加は、地域のお客さまに合併をお知らせする機会となったほか、職員間の融和を進め、シナジー効果の素地を整えることができました。
- さらに、スポーツ大会、美術展、ボランティア活動など、さまざまな行内イベントにも合同で参加し、地域社会への貢献と職員の交流の両立に取り組んでいます。

新行名・ロゴマーク・シンボルマーク

2026年1月の合併に伴い、「株式会社長野銀行」から「株式会社八十二長野銀行」へ商号を変更します。あわせて、企業ロゴマークとシンボルマークも刷新します。これら商号変更やロゴマーク等の刷新は、新銀行としての新たなスタートを象徴するものであり、地域社会とのより一層の連携、信頼関係の強化を目指すものです。新銀行への期待や使命を胸に、地域の皆さまに親しまれる存在となれるよう努力していきます。

▶ 新行名・ロゴマーク



八十二長野銀行

HNBK

合併後の銀行名は、両行のお客さま、株主の皆さま、職員から多くの意見や要望をいただく中で、検討を重ねてきました。両行を長年にわたって支えてくださったお客さまに馴染みのある両行名を大切に考えたうえで、職員の融和、両行の強みやブランドを承継していく想いを込めて、両行の名称を足し合わせた「株式会社八十二長野銀行」(英文名:Hachijuni Nagano Bank, Ltd.)としました。

▶ シンボルマーク

安定・親しみを感じられる角を落とした三角形を用い、緑豊かな自然に包まれた信州の特徴と、地域に根差した誠実な銀行であることを表現しています。幾重にも重なって広がる三角形には、両行のイニシャルである「H」と「N」が含まれており、信州の山々の重なりを示すとともに、両行が合わさり、新たな領域を創り出す様を表現しています。



HNBK



HNBK



HNBK

合併に向けたプロモーション

新銀行「株式会社八十二長野銀行」としての新たなスタートにむけて、認知度向上を図るため「合併プロモーション」を開始しました。

TVCMや新聞広告など多くのメディアを通じて、ステークホルダーの皆さまに新銀行を認知していただくとともに、関心・期待を寄せていただけるよう展開しています。高品質な金融サービスを提供し、高度なコンサルティング機能を発揮することで、これまで以上に地域社会の発展に貢献していきます。



TVCM動画

▶ 「地域の未来を、ここから。」

ポスター、TVCMのデザインには「地域の未来を、ここから。」というキャッチフレーズを採用し、八十二銀行と長野銀行を象徴する子どもたちが手を取り合い、先へと向かって歩いていく姿は、合併後の新銀行が地域とともに進む未来への期待感を込めて描きました。